

コロナ第7波から命を守る

経験ない感染急拡大

緊急要請
共産党が

日本共産党国会議員団は7月22日、新型コロナウイルスの感染急拡大が進むもとで、岸田文雄首相あてに「新型コロナウイルス感染症『第7波』から、国民のいのちを守るための緊急要請」を提出しました。



記者会見する田村氏
=7月22日、国会内

田村政策委員長 なりゆき任せ改めよ

記者会見した田村智子政策委員長は、オミクロン株BA.5系統等の変異株への置き換わりの影響もあり、経験のない感染急拡大となっていると指摘。発熱外来はパンク状態、医療や保健所が崩壊しかねない事態だとして、いのちを守る対策が急務だと強調しました。

その上で①発熱外来の体制、高齢者施設等での頻回検査、無料PCR検査の抜本強化②医療全体の体制強化、臨時的医療施設・療養施設が機能する対策③保健所の抜本的な機能強化支援④必要とする人への円滑なワクチン接種の

促進⑤空港検疫の抜本強化⑥なりゆきまかせの対応を改め、BA.5系統への対策の明確化—の6つの柱で対策を求めています。

過小評価するな

田村氏は、「この間の政府の対応について、反省を求めることが必要だ」と強調。季節性インフルエンザと危険性が変わらないとの議論があるものの、高齢者の重症化率、致死率はインフルエンザよりかなり高いと専門家からも指摘され、変異株への警戒も必要だとして「根拠のない過小評価にくみすべきでない」と語りました。

折り目

終戦
77年

戦争させない 9条変えるな

一点で力あわせよう

戦争回避に最も重要なことは？

安保堅持
軍備大増強
23%

憲法順守、平和への外交努力
56%

(日本世論調査会「平和世論調査」7月31日発表)

岸田文雄首相は、参院選で改憲勢力(自民・公明・維新・国民など)が3分の2以上の議席を得たのを受け、「できるだけ

早く(憲法改定の)発議に至る取り組みを進める」と宣言しました。9条改憲の危険は戦後最も重大です。

しかし国民は、改憲の「信認」を与えたわけではありません。日本世論調査会の調査でも「大軍拡でなく、憲法まもり外交で平和を」が多数です(グラフ)。9条改憲の狙いは、海外での武力行使の一切の歯止めを取り払う=武力行使の完全自由化です。「戦争させない、憲法9条変えるな」の一点で力を合わせましょう。



焼き場に立つ少年
1945年長崎。亡くなった弟を背負い直立不動で火葬の順番を待つ少年。
(撮影:ジョー・オダネル氏)

日本共産党

しんぶん赤旗

日刊
(毎日配達されます)
月3,497円

日曜版
(毎週配達されます)
月930円

お申し込みは
お近くの党事務所か
党員までお願いします

近畿民報

2022年8月 No.2(第512号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は
以上の見解を
発表しました。